

まごころ

第7号

2011年

慈英病院
広報誌

力強い
うさぎ
です



書初

ふふっ、
上手でしょ



お幸せな一年でありますように

几帳面な
私です



書初めなんて
何年振りかな
あ～



御屠

お父様に、ご主人
様に…たくさん
の幸せを…



私は節子で
ございます

いつも、面会ありが
とうね。嬉しいよ



焼酎「霧島」で、
あけましておめでと
うございます



うん…
美味しい!



乾杯! いつも笑顔
をありがとう



今年もご主人様と
仲良く…



我が家で、ホッとひと息を…
患者さんにも感じて頂きたい
私達と同じように…



ご自宅に帰られた患者さんは、とっても嬉しそう
です。涙を流される患者さんもいらっしゃいます。
患者さんの幸せそうな顔を見るだけで、私たち
スタッフは元気になります。
ありがとうございました。

ご意見

お母様からのご意見

3年2ヶ月ぶりのTさま。

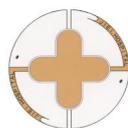
師長さん、子供に1度家に帰って見ませんか？
と話しがあり、まさか子供が帰れるとは？
夢にも思わず涙が出さず嬉しかったです。
昨年、10月21日 ついに実現しました。
「Tさま」と、家に入り、愛犬がワンワンと
鳴き、「おかえり」と言ってくれ皆で涙笑いました。
子供は、何かを感じて火の月をキョキョ、
させてくれました。
わずか1時間程でしたが、充実した日を
過ごさせてもらい、有難うございました。

栄養管理委員会の紹介

当委員会は管理栄養士を始め、各部スタッフで構成し、栄養状態低下の患者様を中心に、毎月検討会を行っています。その中で成功例をご紹介します 慈英病院

2年前のちょうど今頃、57歳の男性が担架で入院されて来ました。自宅で尿が出ず体がむくんでいた為、甥ごさんが心配され近くの病院へ連れて行き、パーキンソン病の治療をされましたが、自宅での生活は無理だということで、当院に來られました。当時の印象は、実際年齢より高齢に見受ける様な痩せ方で、同年代のスタッフもビックリする程でした。体重は30kgも無く、痰をご自分で出す力も無く、誤嚥の可能性があり、何か諦めているかのように見えました。直に摂食嚥下委員会と連携し、栄養状態が良くなるように検討しました。入院9日目より、腹筋力を挙げるため車椅子に座って頂き、歯が無くペースト食しか提供できない為歯科と連携し、入れ歯を作りました。嗜好調査に基づき、大好物の蜂蜜饅頭を小指の先ほどの大きさにして口の中に入れてあげたところ4分の1個くらい食べられました。Tさんはこの事を甥ごさんに話されたのですが、甥ごさんは妄想を言っていると心配され医療相談員に連絡に來られました。その後自信が付かれたのか、好きな物は手で持とうとされ「食べたい」という意欲が見え、夏にはおにぎりや、お饅頭の提供もできるようになり、また、車椅子を自走されるまでに回復されました。秋には体重が40kgを越え、自宅へ外出され「いろいろを食べました」と照れ笑いされるTさんがいました。昨年7月、Tさんは自分の足で住み慣れた自宅へ退院されていますが、その後も当院の通所リハビリテーション（デイケア）を利用されており、栄養管理は継続されています。

私達は「諦めない」を念頭におき、患者様の「食べたい」を安全に提供したいと考えます。



慈英病院

診療科目：内科・神経内科・リハビリテーション科
〒880-0853 宮崎市中西町160番地
TEL 0985-23-5000 FAX 0985-23-5886
<http://www.jiei.jp> e-mail info@jiei.jp

編集委員

江藤裕子 高瀬祐枝
竹迫彩 富永亜津妙
岡村勝広 黒木咲野
黒松和子 古市恵美子
安達仁美 中野麻美
東洋一 山崎志津代